

平成30年3月20日(火) 12:00~
大田スタジアム

2018年度東京都企業春季大会
1回戦

VS

JR東日本

先制して流れをつかみたい打線は2回、4番・大野と7番・木内の四球で2死1、2塁とチャンスを作るが得点を奪えない。さらに3回も9番・新城のヒット、3番・宮川のヒットで2死1、3塁とするもここでも先制することができない。

6回、先頭の3番・宮川がヒットで出塁、4番・大野の送りバント、5番・竹内の四球で1死1、2塁とすると6番・井村のレフト前タイムリーで同点に追いつく！なおも7番・木内がヒットでつなぎ1死満塁と絶好の逆転のチャンスに8番・尾嶋がダブルプレーに倒れこの回は同点どまり。

7回は2死満塁、8回は1死1、2塁、9回は1死2塁、10回は2死1塁と毎回走者を出し一打勝ち越しのチャンスを作り続けるが、あと一本が出ず、勝ち越し点を奪うことができない。10回終了時点で残塁は14を数え、試合の流れはだんだん相手へと傾いていく。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
明治安田生命	安打	0	1	2	0	0	3	1	1	1	0	9
	得点	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
JR東日本	安打	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1x	2
	得点	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

先発の三宮は4回、先頭打者にこの試合初めてのヒットを許すと、1死1、2塁とされ5番打者にレフト前に先制のタイムリーヒットを打たれてしまう。しかし後続は打ち取り最少失点に抑える。

追いついた直後の6回、2番手・古田が登板、2死から連打でピンチを迎えるが無失点でこの回を抑える。7回以降も毎回のように入走者を出す苦しい投球ながらも要所を締め勝ち越しを許さない。

延長10回、先頭打者のセカンドゴロを新城が痛恨のエラー、その後2つの四球で1死満塁と絶体絶命のピンチを迎えると、続く打者に犠牲フライを打たれ万事休す。サヨナラのランナーが生還し1-2でサヨナラ負けを喫した。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁					
1	6	吉田	総合法人第五部	5	4	1	1							1	0.250
2	5	木田	所沢支社	5	4	1	1							1	0.250
3	8	宮川	上野支社	5	4	2	2					1			0.500
4	3	大野	池袋支社	5	3	1	1						1	1	0.333
5	7	竹内	町田支社	5	2	0							1	2	0.000
6	9	井村	東京マーケット開発部	5	5	1	1			1					0.200
7	DH	木内	横浜支社	3	2	1	1							1	0.500
	H	森	新入職員	1	1	1	1								1.000
	R→DH	手銭	総合法人第三部	1	1	0									0.000
8	2	尾嶋	広域組織法人部	5	3	0								2	0.000
9	4	新城	新宿支社	5	5	1	1				1				0.200
計				45	34	9	9	0	0	0	1	1	3	8	0.265

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	三宮	横浜支社		5	21	84	3	4	3	1	1	1.80
2番手	古田	立川支社	×	5	21	87	3	4	4	1	0	0.00
計				10	42	・	6	8	7	2	1	0.90